

言語・社会文化専攻 言語文化コース

時間割コード	授 業 科 目	担当教員	DP ◎＝DP達成のために、特に重要な事項 ○＝DP達成のために、重要な事項 △＝DP達成のために、望ましい項目 〆はまらない項目は空欄								
			言語や文化の理論および研究方法について、専門知識を身につけている。	専門知識に基づいて書物や作品を理解することができる。	設定された問題を解決するために必要なデータを収集し、整理することができる。	収集・整理したデータを専門的な研究方法に基づいて分析し、論理的に結論に導くことができる。	言語や文化に関わる既存の論議を批判的に検討することによって、独自の研究課題を設定し、探求することができる。	異文化への関心を持ち、自文化を相対化して考えることができる。	身につけた専門知識や技能をいかして、現代社会の諸課題にとりくむことができる。	論理的な文章を作成することができる。	自らの研究成果を、聴く人や読む人に理解してもらえような仕方で表現することができる。
ML6501	言語文化共通講義A (総合科目・異文化の中の人間)		◎				○	◎	○	△	△
ML6502	言語文化共通講義B (総合科目・異文化の中の人間)		◎				○	◎	○	△	△
ML6601	言語文化論演習	各指導教員		△	○	○	◎		△	◎	◎
ML6701	英語運用演習A	Menking, Scott	○	○				◎	△		○
ML6702	英語運用演習B	Menking, Scott	○	○				◎	△		○
ML6703	フランス語運用演習 I A	安齋 有紀	○	○				◎	△		○
ML6704	フランス語運用演習 I B	金山 富美	○	○				◎	△		○
ML6705	フランス語運用演習 II A		○	○				◎	△		○
ML6706	フランス語運用演習 II B		○	○				◎	△		○
ML6707	ドイツ語運用演習 I A		○	○				◎	△		○
ML6708	ドイツ語運用演習 I B		○	○				◎	△		○
ML6709	ドイツ語運用演習 II A		○	○				◎	△		○
ML6710	ドイツ語運用演習 II B		○	○				◎	△		○
ML6711	中国語運用演習A	内藤 忠和	○	○				◎	△		○
ML6712	中国語運用演習B	内藤 忠和	○	○				◎	△		○
ML6713	国文学特別演習 I A(中古文)	野本 瑠美	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6714	国文学特別演習 I B(中古文)	野本 瑠美	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6715	国文学特別演習 III A(近世文学)	田中 則雄	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6716	国文学特別演習 III B(近世文学)	田中 則雄	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6717	国文学特別演習 IV A(近代文学)	武田 信明	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6718	国文学特別演習 IV B(近代文学)	武田 信明	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6719	国文学特殊講義 I A(中古文)	野本 瑠美	◎	◎	○		○	△		△	
ML6720	国文学特殊講義 I B(中古文)	野本 瑠美	◎	◎	○		○	△		△	
ML6721	国文学特殊講義 III A(近世文学)	田中 則雄	◎	◎	○		○	△		△	

時間割コード	授業科目	担当教員	DP ◎=DP達成のために、特に重要な事項 ○=DP達成のために、重要な事項 △=DP達成のために、望ましい項目 〇は含まない項目は空欄								
			言語や文化の理論および研究方法について、専門知識を身につけている。	専門知識に基づいて書物や作品を理解することができる。	設定された問題を解決するために必要なデータを収集し、整理することができる。	収集・整理したデータを専門的な研究方法に基づいて分析し、論理的に結論に導くことができる。	言語や文化に関わる既存の言語を批判的に検討することによって、独自の研究課題を設定し、探求することができる。	異文化への関心を持ち、自文化を相対化して考えることができる。	身につけた専門知識や技能をいかにして、現代社会の諸課題にとりくむことができる。	論理的な文章を作成することができる。	自らの研究成果を、聴く人や読む人に理解してもらえるような仕方で表現することができる。
ML6722	国文学特殊講義ⅢB(近世文学)	田中 則雄	◎	◎	○		○	△		△	
ML6723	国文学特殊講義ⅣA(近代文学)	武田 信明	◎	◎	○		○	△		△	
ML6724	国文学特殊講義ⅣB(近代文学)	武田 信明	◎	◎	○		○	△		△	
ML6725	日本語学特別演習ⅠA(古代語)		△	△		◎	◎		△	△	○
ML6726	日本語学特別演習ⅠB(古代語)		△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6727	日本語学特別演習ⅡA(近代語)	野間 純平	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6728	日本語学特別演習ⅡB(近代語)	野間 純平	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6729	日本語学特殊講義ⅠA(古代語)	浅田 健太郎	◎	◎	○		○	△		△	
ML6730	日本語学特殊講義ⅠB(古代語)	浅田 健太郎	◎	◎	○		○	△		△	
ML6731	日本語学特殊講義ⅡA(近代語)		◎	◎	○		○	△		△	
ML6732	日本語学特殊講義ⅡB(近代語)		◎	◎	○		○	△		△	
ML6733	中国文学特別演習A		△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6734	中国文学特別演習B		△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6735	中国文学特殊講義ⅠA		◎	◎	○		○	△		△	
ML6736	中国文学特殊講義ⅠB		◎	◎	○		○	△		△	
ML6737	中国文学特殊講義ⅡA	要木 純一	◎	◎	○		○	△		△	
ML6738	中国文学特殊講義ⅡB	要木 純一	◎	◎	○		○	△		△	
ML6739	中国文学特殊講義ⅢA	内藤 忠和	◎	◎	○		○	△		△	
ML6740	中国文学特殊講義ⅢB	内藤 忠和	◎	◎	○		○	△		△	
ML6741	中国語学特別演習A	要木 純一	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6742	中国語学特別演習B	要木 純一	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6743	イギリス文学特別演習A	Cheyne, Peter	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6744	イギリス文学特別演習B	Cheyne, Peter	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6745	アメリカ文学特別演習A	宮澤 文雄	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6746	アメリカ文学特別演習B	宮澤 文雄	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6747	アメリカ文化特別演習A	宮澤 文雄	△	△	○	◎	◎		△	△	○

時間割コード	授業科目	担当教員	DP ◎=DP達成のために、特に重要な事項 ○=DP達成のために、重要な事項 △=DP達成のために、望ましい項目 〇は含まない項目は空欄								
			言語や文化の理論および研究方法について、専門知識を身につけている。	専門知識に基づいて書物や作品を理解することができる。	設定された問題を解決するために必要なデータを収集し、整理することができる。	収集・整理したデータを専門的な研究方法に基づいて分析し、論理的に結論に導くことができる。	言語や文化に関わる既存の言葉を批判的に検討することによって、独自の研究課題を設定し、探求することができる。	異文化への関心を持ち、自文化を相対化して考えることができる。	身につけた専門知識や技能をいかにして、現代社会の諸課題にとりくむことができる。	論理的な文章を作成することができる。	自らの研究成果を、聴く人や読む人に理解してもらえるような仕方で表現することができる。
ML6748	アメリカ文化特別演習B	宮澤 文雄	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6749	英語学特別演習A	小林 亜希子	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6750	英語学特別演習B	小林 亜希子	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6751	イギリス文学特殊講義A	Cheyne, Peter	◎	◎	○		○	△		△	
ML6752	イギリス文学特殊講義B	Cheyne, Peter	◎	◎	○		○	△		△	
ML6753	アメリカ文学特殊講義A	宮澤 文雄	◎	◎	○		○	△		△	
ML6754	アメリカ文学特殊講義B	宮澤 文雄	◎	◎	○		○	△		△	
ML6755	アメリカ文化特殊講義A	宮澤 文雄	◎	◎	○		○	△		△	
ML6756	アメリカ文化特殊講義B	宮澤 文雄	◎	◎	○		○	△		△	
ML6757	英語学特殊講義 I A	小林 亜希子	◎	◎	○		○	△		△	
ML6758	英語学特殊講義 I B	小林 亜希子	◎	◎	○		○	△		△	
ML6759	英語学特殊講義 II A	小原 真子	◎	◎	○		○	△		△	
ML6760	英語学特殊講義 II B	小原 真子	◎	◎	○		○	△		△	
ML6761	フランス文化特別演習A	金山 富美	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6762	フランス文化特別演習B	安齋 有紀	△	△	○	◎	◎	○	△	△	○
ML6763	フランス文化特殊講義A	安齋 有紀	◎	◎	○	◎	◎	○		△	○
ML6764	フランス文化特殊講義B	金山 富美	◎	◎	○		○	△		△	
ML6765	ドイツ文化特別演習 I A	山崎 泰孝	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6766	ドイツ文化特別演習 I B	山崎 泰孝	△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6767	ドイツ文化特別演習 II A		△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6768	ドイツ文化特別演習 II B		△	△	○	◎	◎		△	△	○
ML6769	ドイツ文化特殊講義 I A	山崎 泰孝	◎	◎	○		○	△		△	
ML6770	ドイツ文化特殊講義 I B	山崎 泰孝	◎	◎	○		○	△		△	
ML6771	ドイツ文化特殊講義 II A		◎	◎	○		○	△		△	
ML6772	ドイツ文化特殊講義 II B		◎	◎	○		○	△		△	
ML6773	異文化間コミュニケーション特殊講義 I A (日仏文化比較論)		◎	◎	○		○	△		△	

時間割コード	授業科目	担当教員	DP ◎=DP達成のために、特に重要な事項 ○=DP達成のために、重要な事項 △=DP達成のために、望ましい項目 あてはまらない項目は空欄									
			言語や文化の理論および研究方法について、専門知識を身につけている。	専門知識に基づいて書物や作品を理解することができる。	設定された問題を解決するために必要なデータを収集し、整理することができる。	収集・整理したデータを専門的な研究方法に基づいて分析し、論理的に結論に導くことができる。	言語や文化に関わる既存の言語を批判的に検討することによって、独自の研究課題を設定し、探求することができる。	異文化への関心を持ち、自文化を相対化して考えることができる。	身につけた専門知識や技能をいめして、現代社会の諸課題にとりくむことができる。	論理的な文章を作成することができる。	自らの研究成果を、聴く人や読む人に理解してもらえるような仕方で表現することができる。	
ML6774	異文化間コミュニケーション特殊講義 I B (日仏文化比較論)		◎	◎	○		○		△		△	
ML6775	異文化間コミュニケーション特殊講義 II A (日独文化比較論)		◎	◎	○		○		△		△	
ML6776	異文化間コミュニケーション特殊講義 II B (日独文化比較論)		◎	◎	○		○		△		△	
ML6777	哲学特別演習		△	△			◎	◎			△	○
ML6809	哲学特別演習 I A	北村 直彰	△	△	○		◎	◎			△	○
ML6810	哲学特別演習 I B	北村 直彰	△	△	○		◎	◎			△	○
ML6811	哲学特別演習 II A	田中 一馬	△	△	○		◎	◎			△	○
ML6812	哲学特別演習 II B	田中 一馬	△	△	○		◎	◎			△	○
ML6778	哲学特殊講義 I A	北村 直彰	◎	◎	○		○		△		△	
ML6779	哲学特殊講義 I B	北村 直彰	◎	◎	○		○		△		△	
ML6780	哲学特殊講義 II A	田中 一馬	◎	◎	○		○		△		△	
ML6781	哲学特殊講義 II B	田中 一馬	◎	◎	○		○		△		△	
ML6782	芸術学特別演習 I A		△	△	○		◎	◎			△	○
ML6783	芸術学特別演習 I B		△	△	○		◎	◎			△	○
ML6784	芸術学特別演習 II A		△	△	○		◎	◎			△	○
ML6785	芸術学特別演習 II B		△	△	○		◎	◎			△	○
ML6786	芸術学特殊講義 I A		◎	◎	○		○		△		△	
ML6787	芸術学特殊講義 I B		◎	◎	○		○		△		△	
ML6788	芸術学特殊講義 II A	伊集院 敬行	◎	◎	○		○		△		△	
ML6789	芸術学特殊講義 II B	伊集院 敬行	◎	◎	○		○		△		△	
ML6801	文化交流論特別演習 I A	前田 しほ	△	△	○		◎	◎			△	○
ML6802	文化交流論特別演習 I B	前田 しほ	△	△	○		◎	◎			△	○
ML6803	文化交流論特別演習 II A		△	△	○		◎	◎			△	○
ML6804	文化交流論特別演習 II B		△	△	○		◎	◎			△	○
ML6805	文化交流論特殊講義 I A		◎	◎	○		○		△		△	
ML6806	文化交流論特殊講義 I B	前田 しほ	◎	◎	○		○		△		△	

時間割コード	授業科目	担当教員	DP ◎=DP達成のために、特に重要な事項 ○=DP達成のために、重要な事項 △=DP達成のために、望ましい項目 あてはまらない項目は空欄								
			言語や文化の理論および研究方法について、専門知識を身につけている。	専門知識に基づいて書物や作品を理解することができる。	設定された問題を解決するために必要なデータを収集し、整理することができる。	収集・整理したデータを専門的な研究方法に基づいて分析し、論理的に結論に導くことができる。	言語や文化に関する既存の言説を批判的に検討することによって、独自の研究課題を設定し、探求することができる。	異文化への関心を持ち、自文化を相対化して考えることができる。	身につけた専門知識や技能をいかにして、現代社会の諸課題にとりくむことができる。	論理的な文章を作成することができる。	自らの研究成果を、聴く人や読む人に理解してもらえるような仕方で表現することができる。
ML6807	文化交流論特殊講義ⅡA		◎	◎	○		○	△		△	
ML6808	文化交流論特殊講義ⅡB		◎	◎	○		○	△		△	
ML6794	言語文化特殊講義Ⅰ		◎	◎	○		○	△		△	
ML6795	言語文化特殊講義Ⅱ		◎	◎	○		○	△		△	
ML6796	言語文化特殊講義Ⅲ		◎	◎	○		○	△		△	
ML6797	言語文化特殊講義Ⅳ		◎	◎	○		○	△		△	
ML6798	言語文化特殊講義Ⅴ		◎	◎	○		○	△		△	
ML6799	言語文化特殊講義Ⅵ		◎	◎	○		○	△		△	
ML6800	言語文化特殊講義Ⅶ		◎	◎	○		○	△		△	
ML5901	山陰地域プロジェクト演習				○	◎	○		◎	△	○
ML5902	異文化交流Ⅰ	嘉村・高橋・永松					○	◎	○		△
ML5903	異文化交流Ⅱ	関 耕平					○	◎	○		△
ML5904	異文化交流Ⅲ	ムキン・片岡					○	◎	○		△
ML5905	異文化交流Ⅳ	山崎 泰孝					○	◎	○		△